

# 秋のお月見

太古の昔から日本人が愛してやまない秋の月。そんな月にまつわるお話を一部、ご紹介します。

## お月見がもっと楽しくなる月のお話 十五夜からわかる、情感豊かな日本人の心

### 十五夜って？

十五夜（中秋の名月）は旧暦 8 月 15 日の月。「中秋の名月」と言うのは旧暦の秋 7～9 月のちょうど真ん中にあたるから。この頃になると初秋の嵐や雨が過ぎ、大陸からの冷たい空気で空が晴れます。夜には美しく澄んだ月が見られ、その月を愛でる風雅な宴がやがて収穫祭と結びつき、お月見の風習となりました。

### 月うさぎの話

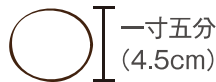
空腹と疲れで行き倒れた老人を元気づけるため、火に飛び込んで自らを食糧として捧げた献身的なうさぎがいました。帝釈天だったその老人は、その行いを皆のお手本にしようとうさぎを天に昇らせたという伝説があります。月は慈愛の象徴なのです。

### さまざまなお月見

十五夜のお月見には、十三夜、十日夜があります。十三夜は旧暦 9 月 13 日。十五夜に次いで美しい月と言われています。十日夜は旧暦 10 月 10 日に行われるお月見ですが収穫を祝うお祭りでもあります。この 3 晩とも晴れると、縁起がいいとされています。

## お月見のしかた 月見だんごの供え方、知っていましたか？

- ①月見だんごは十五にちなみ一寸五分の大きさに丸め、ほんの少しつぶします。
- ②三方に白い紙を敷きその上にだんごを盛ります。お盆やお皿でも OK。
- ③15 個のだんごを下から 9、4、2 個と 3 段に盛ります。

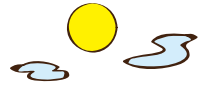


お月様から見えるところに、ススキや野菜は左、だんごは右。

## お月見、よもやま話 お月見にまつわる逸話のあれこれ

### お供えものは食べていい？

お供えものはむしろ食べるほうがいとされます。感謝の気持ちをこめてお供えした後、いただきますよう。



### 嫁入り前は月見だんごを食べるな!?

月見だんごを食べると子宝に恵まれると言われ、嫁入り前の娘は月見だんごを食べてはいけないとされる地域もあるそうです。



何となく過ごしていたけれど、こうして同じ月を日本人が太古の昔から眺め愛してきたものだと考えると、お月見の夜もいっそう心豊かに過ごせるのではないのでしょうか。

## オススメ商品 暖蘭物語

## オトナのミッドテリア空間で素敵なお月見を



リビングとお庭をつなぐミッドテリア空間としてのガーデンルーム「暖蘭物語」は開放感と快適な居住性で、スローライフを演出します。収納網戸を付ければ爽やかな秋の夜風だけを通して虫はシャットアウト。お洒落でモダンなラウンジ空間でちょっぴり“オトナ”なお月見を楽しめます。



使わない時はコンパクトにたためる収納網戸

商品のお問合せは…



## 明日家デザイン工房 (株) 明日家スタジオ

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1487-1  
Tel : 029-291-3900 Fax : 029-291-3901